

# 小笠原村個別施設計画 概要版

## 1. 個別施設計画の目的と位置付け

「小笠原村公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）で示した基本的な方針を踏まえ、施設を総合的な観点で捉え、施設の質的改善も踏まえた大規模改修や長寿命化を目指し、改修時期等を設定することで計画的に長寿命化を進め、コストの縮減と平準化を図ることを目的に、本村が所有する施設について「小笠原村個別施設計画」（以下、「本計画」という。）を策定しました。

「総合管理計画」では、公共施設等の管理に関する基本方針を示していますが、個別の施設についての詳細な対応方法が示されていないため、施設の効率的な長寿命化等について、具体的な改修方法や更新時期などを明確に記載した「本計画」を策定し、「総合管理計画」の下位計画として位置づけました。

## 2. 個別施設計画の対象施設及び計画期間

「本計画」の対象施設は15分類133施設です。

「本計画」の計画期間は、「総合管理計画」の計画期間と合わせ、令和5年度から令和28年度までの24年間とします。ただし、社会経済情勢の大きな変化や国、都等の関連計画の策定や変更など、本計画を見直す必要が生じた場合には、適宜見直しを行うこととします。

なお、更新費用等の算定期間については、上位計画である総合管理計画で記載を求められている今後24年間を対象とし、直近5年間（令和5年度～令和9年度）については、予定される工事等の内容を反映しています。

施設の保有状況

| 区分   | 分類               | 施設数 |
|------|------------------|-----|
| 公共施設 | 市民文化系施設          | 3   |
|      | 社会教育系施設          | 1   |
|      | スポーツ・レクリエーション系施設 | 9   |
|      | 産業系施設            | 6   |
|      | 学校教育系施設          | 11  |
|      | 子育て支援施設          | 3   |
|      | 保健・福祉系施設         | 5   |
|      | 医療施設             | 4   |
|      | 行政系施設            | 26  |
|      | 住宅施設             | 26  |
|      | 供給処理施設           | 6   |
| その他  | 7                |     |
| インフラ | 公園               | 2   |
|      | 水道               | 10  |
|      | 下水道              | 14  |

## 3. 施設の評価方法

以下のように、ハード面、ソフト面の双方から各施設を評価した結果を対策の優先順位の設定基準にあてはめるとともに、その他の要因等も参考にしながら、施設の対策優先順位付けを行います。ただし、劣化診断により補修等を実施しなければ利用者の安全・安心に関わる部分が判明した場合は、速やかに補修等を実施していくものとします。

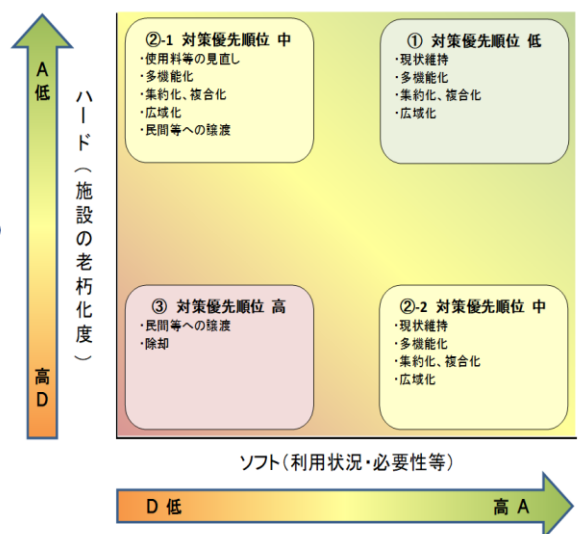
### ハード評価

- 劣化状況評価  
劣化状況評価を実施し、劣化状況に応じてランク付けを行いました。
- 耐用年数評価  
経過年数に応じてランク付けを行いました。

### ソフト評価

- 行政サービス提供需要、必要性等による評価、現在、将来の行政サービス提供需要、施設規模を維持することの必要性及び現在の位置に配置することの必要性に応じてランク付けを行いました。

対策の優先順位



# 小笠原村個別施設計画 概要版

## 4.施設の今後の主な方針

### 市民文科系施設

- ・村民会館は老朽化が進んでおり、令和5、6年度に別の場所に建物を建設し、機能を移転する予定です。
- ・扇浦交流センター、奥村交流センターは、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 社会教育系施設

- ・コース記念館は、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### スポーツ・レクリエーション系施設

- ・すべての施設で、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 産業系施設

- ・三日月山陶芸小屋は、現在稼働していないことから時期を見て機能廃止し、建物を解体します。
- ・三日月山陶芸小屋以外の施設は、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 学校教育系施設

- ・小笠原小学校、小笠原中学校は、令和12年度に小笠原小中学校として、建替えを予定しています。小笠原小学校は令和9年度、小笠原小学校増築校舎及び小笠原中学校は令和12年度に解体予定であり、それまでは現在の施設を存続させ、機能を維持します。
- ・小笠原小中学校芝生管理倉庫は、新たに建設する小笠原小中学校に機能を移管します。
- ・母島小中学校は、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 医療施設

- ・すべての施設で、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 保健・福祉系施設

- ・地域交流施設（ふらっとハウス）は、老朽化が進んでいることから、別の施設の更新に合わせて、今後のあり方を検討するとともに、将来的に機能を移転する予定です。
- ・地域交流施設（ふらっとハウス）以外の施設は、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 子育て支援施設

- ・母島保育園は、老朽化が進んでおり、別の場所に建設する施設に機能を移転する予定です。
- ・父島保育園は、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 行政系施設

- ・すべての施設で、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 住宅施設

- ・村民住宅施設である、村営住宅1号棟（一時宿泊所）は、将来的に機能を廃止します。
- ・厚生施設である、沖村職住9号棟は、将来的に機能を廃止します。また、沖村職住8号棟は別の施設に機能を移転する予定です。
- ・村営住宅1号棟（一時宿泊所）、沖村職住9号棟以外の施設は、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 供給処理施設

- ・すべての施設で、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### その他

- ・便所（母島東港）は、将来的に機能を廃止します。
- ・便所（母島東港）以外の施設は、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 公園

- ・すべての施設で、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 水道

- ・清瀬増圧ポンプ場は、将来的に機能を廃止します。
- ・清瀬増圧ポンプ場以外の施設は、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

### 下水道

- ・すべての施設で、現在の施設を存続させ、機能を維持します。

## 5.更新等費用の試算

「本計画」に基づき、更新等費用の試算を行った結果、令和5年度～令和9年度で4,399百万円、令和10年度～令和28年度で9,381百万円と算定されています。